

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北海道)		一般小売店〔土産〕 (経営者)	・今後についても、外国人観光客や大都市圏との行き来をする国内客が増え続けることが見込まれ、それに伴い当施設の消費も増えてくることを見込まれる。特に好調な中国人観光客や韓国便の増便が大きく寄与する。
		商店街（代表者）	・外国人観光客が堅調に推移している。国内旅行者が少ないせいか、特に姿が目立っている。外国人観光客による購買も大型店、小型店共堅調なことから、今後の景気はやや良くなる。
		一般小売店〔土産〕 (経営者)	・年始を北海道で過ごしたいというアジアからの観光客が多く、1月の売上の60%が外国人観光客によるものであった。全体の売上は前年比114%、前々年比120%と好調に推移していることから、今後の景気はやや良くなる。
		百貨店（販売促進担当）	・今年は春節の日程が2月後半となっているため、冬場の恒例イベント以降から外国人観光客が増えてくることが期待できる。それに伴い、当店の来客数、購買客数も前年を上回ることが見込めるため、2月以降の景気は好転することになる。
		コンビニ（エリア担当）	・今年は雪が多いことから、来客数が減少しているものの、客単価が上昇していることから、今後、雪解けが進むとともに来客数が回復することになり、売上も増加することが期待できる。
		コンビニ（店長）	・来客数、客単価が上向いてきている。主食系の商材の販売量も伸びてきているため、今後の景気はやや良くなることが期待できる。
		衣料品専門店（店長）	・就活スーツが活発に動いていることから、今後については前年以上の需要が見込める。
		家電量販店（経営者）	・平昌オリンピック開催の影響により、テレビ関連での売上増が見込まれる。また、法人の年度末需要が見込まれることもプラスである。
		乗用車販売店（経営者）	・他社の状況も含めて、新型車効果が相乗効果につながっている。今後、春にかけては増販期も重なることから、弱含みながらも上向きに転じることになる。
		乗用車販売店（従業員）	・決算手当が前年並み又は前年を上回って支給される見込みであり、旅行や電化製品の購入などを予定する従業員がみられるなど、先行きに明るさを感じられる。
		観光型ホテル（スタッフ）	・2月は冬場の恒例イベントや春節での集客が好調に推移することが見込まれる。3月以降も、冬季スポーツイベント、プロ野球の開幕、コンサートなどに伴う需要が見込まれ、プラス傾向で推移する。
		旅行代理店（従業員）	・建設業界を中心に景気が上向いているとの話を客から聞く機会が増えている。
		通信会社（社員）	・繁忙期に入るため、若干は景気が上向くことになる。
		通信会社（企画担当）	・都市部を中心に、自社の映像系サービスに対する注目度が高く、引き合いも増えているため、今後の収益の増加が期待できる。
		観光名所（従業員）	・これまでの団体ツアー客中心の利用から、個人や少人数での利用が中心になってきており、外国人観光客の旅行スタイルが変化してきていることがうかがえる。利用人数に変化がなくても、個人客の利用が中心となることで客単価のアップが期待できるほか、滞在時間の自由度が増すことで飲食や物販での波及効果も望める。
		美容室（経営者）	・例年、冬季は売上の落ち込みが大きくなるが、今年はそれほど落ち込み幅が大きいいため、春以降は今よりも景気が良くなる。
		商店街（代表者）	・消費税増税や年金支給開始年齢の引き上げなどのマイナス要因ばかりであり、景気にプラスとなるような要因が見当たらない。
		商店街（代表者）	・1月は厳しい寒さが影響して今一つであったが、これまでの客の様子から、今後については堅調に推移する。
		商店街（代表者）	・地元客の消費動向はほぼ例年並みで推移すると見込まれるため、全体的には現在のやや悪い状況が今後も続く。ただ、2～3年前の春先から少人数で来街する英語圏の外国人観光客が目につくようになっており、これらの外国人観光客の動向によっては、運輸、交通、ホテル、お土産品などの景気はやや良くなる可能性もある。
		商店街（代表者）	・オフシーズンのため、今後も変わらないまま推移する。
	商店街（代表者）	・今後の景気は良くも悪くも低位で安定して推移するとみられる。	

一般小売店〔酒〕（経営者）	・好材料も悪材料も見当たらないため、この先何か月間かは一進一退の状況が続く。
百貨店（売場主任）	・これまで好調に推移してきたが、外国人観光客以外の国内客の買上動向は楽観できないままである。また、前年の1月から始まった外国人観光客の回復傾向が一巡することになるため、今後はさほど大きな伸びを期待できない。実際に1月の売上はぎりぎり前年並みをキープできるかどうかという状況である。
百貨店（担当者）	・客の動向は天候に左右されやすいため、しばらくは消費へのマイナスの影響が続く。
百貨店（営業販促担当）	・衣料品が底を打った感はあるが、現在好調な高額品が不安定に推移することを懸念している。広告などに「NEW」や「限定品」などの言葉を効果的に組み入れていかない限り、景気が上向くことは期待できない。
スーパー（店長）	・市内各店共、厳しい経営環境にあることから、今後も厳しい状況は変わらない。
スーパー（店長）	・新生活需要による目的買いが期待できるが、全体的な景気は変わらないまま推移する。
スーパー（店長）	・大きな変動要因が見当たらないため、今後も景気は変わらない。
スーパー（店長）	・ここ最近では物価が高くなっていることもあり、客が財布のひもを締めている。12月にお金を使いすぎたのか、1月に入ってからは本当に必要なものしか買わない客が多く、今後も景気は厳しいまま変わらない。
スーパー（企画担当）	・燃料価格の上昇、野菜の相場高が進むなか、消費者の生活防衛意識の高まりから店頭販売価格の引下げ圧力が高まっており、今後の消費環境の好転は望みにくい。
スーパー（役員）	・天候が良くなることで景気が上向きになることを期待しているが、地方では少子高齢化や可処分所得の減少が進むなか、他社との競争環境がますます厳しくなっており、今後の景気については不安の方が大きい。
コンビニ（エリア担当）	・高単価商材の動きが良いことから、消費マインドは上向きに見えるが、そもそも店舗が飽和状態にあり、来客数の減少に歯止めが掛からないことから、売上が大きく回復することまでは見込めない。
コンビニ（エリア担当）	・変わる要素がないため、今後も景気は変わらない。
コンビニ（エリア担当）	・周辺の人口減少が続いており、それに伴い来客数も減少傾向で推移しているため、今後も景気は変わらない。
家電量販店（店員）	・客が必要家電以外をみていかないことから、今後も景気は変わらない。平昌オリンピック需要に期待している。
乗用車販売店（従業員）	・1月は春先需要の先駆けとなる月であり、周りの店舗の状況も悪くなかったことから、2～3月はもう少し良くなると期待できる。急激に売上が増加することまでは考えにくい、悪くなることはない。
自動車備品販売店（店長）	・車検を含めた車両メンテナンスについては前年超えを見込めそうだが、その分車両の買換えが進んでおらず、今後も景気は変わらないまま推移する。
その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・北海道の低迷する景気はなかなか変化しそうにない。病院やインターネット販売に需要が取られていることから、今後も厳しいまま変わらない。
その他専門店〔造花〕（店長）	・生活必需品などの値上がりが続いており、し好品の客離れが進んでいることから、今後も厳しいまま変わらない。
高級レストラン（経営者）	・本州などで過去に例がないほどの悪天候となっていることで、野菜などの価格高騰が懸念される。また、北海道では暖房費などもかさんでおり、家計がどんどん圧迫されている。一般市民の消費動向は弱くなる一方であり、飲食業の売上も落ち込み始めている。人件費や光熱費、原材料費の上昇もあり、苦しい経営環境は春まで続くことになる。
旅行代理店（従業員）	・3～4月になると流水観光も終了し、花観光までの過渡期となるため、観光需要が余り見込めない。特に4月は観光、ビジネス共、1年で最も動きの少ない月であるため、今後も景気は変わらない。
旅行代理店（従業員）	・先行受注状況が前年よりも低調なため、今後の景気は厳しいまま変わらない。
タクシー運転手	・雪のある時期はタクシーの利用が増えるため、3月までは1月と同じように推移するが、4月以降は雪がなくなるため、タクシーの利用が減ることになる。
タクシー運転手	・乗務員不足が深刻である。今後については日中の稼働の良さで収入は補われるとみているが、余り期待できない状態にある。

	タクシー運転手	・平昌オリンピックが行われ、日本選手の活躍で活気が出る とみられるが、一時的な効果である。	
	タクシー運転手	・前年から全体的に動きが悪くなっている。年が明けてから も景気回復の兆しがみえないことから、今後も現状のまま 推移する。むしろ悪化することを懸念している。	
	観光名所（職員）	・当施設の利用客については引き続き順調に伸びている。外 国人観光客の増加によるところが大きい。当面は堅調に 推移すると期待している。	
	美容室（経営者）	・これから春に向かうなかで、多少は売上が増えてくるとみ ているが、前年を上回る売上までは期待できない。	
	美容室（経営者）	・現在の景気回復から、地方だけが置き去りにされているこ とから、今後も景気は変わらない。	
	その他サービスの動向 を把握できる者〔フェ リー〕（従業員）	・前年後半からの天候不順が今後も続くともみられるため、今 後も景気は厳しいまま変わらない。	
	住宅販売会社（経営 者）	・株式市場が踊り場に来ているとみられること、金利が下げ 止まってきていることなどから、今後も現在のような状況が 続く。	
	住宅販売会社（経営 者）	・1～3月までの期間は引っ越しシーズンであり、分譲マン ション業界においては比較的販売量の伸びる時期である。そ のため、この時期のデベロッパーの業績は底堅いが、一層の 上乗せを期待できるような特殊要因もないため、景気は変わ らないまま推移する。	
	百貨店（役員）	・売場における最近の客の言動から、今後の景気はやや悪く なる。	
	スーパー（役員）	・寒い日が続いていることで、客が買物に出掛ける機会が減 少しており、今後についても消費が落ち込むことを懸念して いる。	
	衣料品専門店（店長）	・来客数が落ち込んでいることに加えて、客単価も非常に低 下していることから、今後の景気はやや悪くなる。	
	乗用車販売店（従業 員）	・今年1年、これといった好材料がないことから、今後の景 気はやや悪くなる。	
	高級レストラン（ス タッフ）	・地元客中心の店では大都市圏のような景気回復は感じにく い。努力を重ねた上で前年並みの売上をキープするのが精一 杯である。	
	観光型ホテル（役員）	・実質賃金が伸びていない一方で、物価が上昇していること から、旅行などへの支出抑制が懸念される。また、平昌オリ ンピック開催に伴う出控えも影響することになる。さらに、 北朝鮮問題の長期化や日韓関係の悪化による影響も懸念され る。	
	旅行代理店（従業員）	・前年と比較して問合せ件数が少ないため、今後の景気はや や悪くなる。	
	タクシー運転手	・年末の繁忙期の売上増加を期待していたが、前年から微減 であったことから、今後も厳しい状況が続く。	
	タクシー運転手	・予約や問合せの件数が前年と比較して減少しているため、 今後の景気はやや悪くなる。	
	×	高級レストラン（ス タッフ）	・天候不順が収まらず、様々な商材で値上げの動きがみえ始 めているため、今後の景気は悪くなる。
企業 動向 関連 (北海道)		建設業（経営者）	・土木工事についてはゼロ国債工事、翌債工事などが2～3 月にかけて発注、契約となり、4月中旬以降の工事着手を前 にした準備作業が始まることになる。建築工事については融 雪後の着工を予定する民間工事の引き合いが出てくる。
		建設業（役員）	・受注着工済みの次年度繰越工事に加えて、2～3月につ けて着工予定の民間建築工事や公共土木工事の新規受注が決定 している。次年度のスタートとともに、フル稼働状態が見込 まれるため、景気が上向くことが期待できる。
		輸送業（支店長）	・現在が底とみており、春先需要から国内外の輸送量が増え てくることが見込める。
		その他非製造業〔鋼材 卸売〕（従業員）	・予測数値も回復傾向に転じ始めており、新年度からの政策 などを機に市場が活況になるとみられる。
		食料品製造業（従業 員）	・今年度内は現状の傾向が続く。
		家具製造業（経営者）	・外的な環境は比較的落ち着いており、景気に大きな変動は ないとみられる。しかし、地方都市の市況悪化に歯止めが掛 かっておらず、総体的には現状維持の状態が続く。
		建設業（従業員）	・東京オリンピックが開かれる2020年の直前まで、建設資材 や労務者不足が解消されず、建設単価の高止まりが継続する ことになる。

	通信業（営業担当）	・景況感としてはやや良い状況が継続しているが、今後、景気が更に上向くような要素は見当たらないため、このまま横ばいで推移する。
	金融業（従業員）	・灯油価格の上昇による個人消費への影響が懸念されるものの、外国人観光客による消費や民間設備投資の増加が見込まれることから、道内景気は3か月前と変わらない水準を維持する。
	司法書士	・不動産及び建物建築の動向については4月以降に本格的な活動時期に入るとみられるが、3月までは低調な状態が続く。
	司法書士	・景気回復に結び付くような政策が見当たらない。東京の一極集中は東京オリンピックまで継続するとみられるが、地方の景気が回復するには国の強力な財政政策などが必要であるため、当面景気に変化はないまま推移する。
	その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・災害復旧に伴う工事が継続されており、当面は現状を維持する。
	その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・前々年の台風災害からの復旧工事が堅調なことで、受注量が前年を上回って推移しているが、4月以降は前年並みで推移することが見込まれる。
	その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・台風災害からの復旧需要がなくなれば、相応の建設需要が減少することになるため、今後についてはやや悪くなる。
	x	-
雇用 関連 (北海道)	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・前々年の台風被害からの復旧工事が順調に進んでいる。また、前年の農業の産出額が過去最高であったことから、農業関連の従事者の消費意欲が上向くと期待できることなどから、今後の雇用環境はやや良くなる。
	学校〔大学〕（就職担当）	・ホテルや土産店、旅行代理店、家電量販店の採用担当者から、売上が前年度よりもアップしていると聞いている。今後も個人消費は少しずつではあるが、伸びるとみられるため、今後の雇用環境もやや良くなる。
	人材派遣会社（社員）	・販売系の企業では春商戦の準備に入ることで人材の調達意欲が高まり、派遣のニーズが高まることになる。中途採用のニーズも現状維持で推移することになる。業績が好調な企業においては新年度以降の業績拡大を見込み、営業職を中心に求人ニーズが高まることになる。
	求人情報誌製作会社（編集者）	・正社員求人への応募者の多くは、在職中の転職希望者であることから、労働市場は既に飽和状態となっている。
	求人情報誌製作会社（編集者）	・観光客の増加がサービス業や個人消費を押し上げる可能性があるが、募集の増加に直結することまでは見込めない。
	職業安定所（職員）	・月間有効求職者数が前年を下回り、月間有効求人数が前年を上回る傾向が今後も続く。
	職業安定所（職員）	・中小企業においても正社員求人への転換が始まるなど、求人条件の見直しの動きがみられる。新規卒者の入社時期を間近に控え、欠員の穴埋めや増員のための人材確保が重要な時期となっている。また、そのことを大きな課題として捉える企業も増えている。
	職業安定所（職員）	・12月の有効求人倍率が2か月連続で前年を上回るなど、業種によっては人手不足の状況が深刻化している。
	求人情報誌製作会社（編集者）	・アルバイト、パートの求人数の減少が続いている。好調を維持してきた正社員の求人数も伸びが鈍化しつつあることから、今後についてはやや悪くなる。
	職業安定所（職員）	・天候不良に伴う野菜の価格高騰、燃料の価格高騰による購買力低下の影響が懸念される。
		x